



平成 17 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社サンオータス  
代 表 者 名 代表取締役社長 北 野 俊  
( J A S D A Q コード番号 : 7 6 2 3 )  
問 い 合 わ せ 先 取締役管理本部長 古 川 晴 男  
T E L 0 4 5 - 4 7 3 - 1 2 1 1 (代表)

## 平成 18 年 4 月期中間（連結・単独）業績予想との差異に関するお知らせ

平成 18 年 4 月期（平成 17 年 5 月 1 日～平成 18 年 4 月 30 日）の業績予想について、平成 17 年 6 月 24 日付当社「平成 17 年 4 月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 17 年 4 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成18年4月期連結業績予想の修正等

##### (1) 中間期（平成17年5月1日～平成17年10月31日）

|   | 売上高        | 経常利益    | 当期純利益   |
|---|------------|---------|---------|
| 前 回 発 表 予 想 ( A )<br>(平成 17 年 6 月 24 日 発 表) | 13,000 百万円 | 260 百万円 | 120 百万円 |
| 今 回 修 正 ( B )                               | 13,076 百万円 | 200 百万円 | 114 百万円 |
| 増 減 額 ( B - A )                             | 76 百万円     | △60 百万円 | △6 百万円  |
| 増 減 率                                       | 0.6%       | △23.1%  | △5.0%   |

##### (2) 修正理由

売上高は、カーライフサポート事業の燃料油販売が、原油価格の上昇分が商品価格に転嫁されたことで、消費者心理にマイナスの影響を与えた結果、販売数量は前年を下回りました。しかしながら、価格の上昇により売上高は前年同期を上回りました。一方、油外商品の販売は、最盛期となる夏場に台風が多かった影響から前年同期並みとなりました。

レンタカー事業においては積極的な店舗展開、台数の増加により売上目標を達成しました。この結果、カーライフサポート事業の売上は、前回発表時の計画並みとなりました。

カービジネス事業では、BMW車販売は新車種ならびに新型車が投入されて計画を上回り、フォード車の販売も堅調に推移しましたが、ジャガー車については新型車の投入がなく目標未達となりましたが、カービジネス事業全体としては前回発表時の計画並みとなりました。

この結果、売上高は、グループ全体では目標比 0.6%増の 13,076 百万円となりました。

経常利益は、連結対象子会社を含めたカービジネス事業で、新車販売が計画を上回ったことに加え、中古車・整備部門も収益に貢献しましたが、カーライフサポート事業で石油商品販売価格の上昇を上回る仕入価格の上昇により、利益率が計画を下回った結果、経常利益は 200 百万円（当初予想比：60 百万円の減少）となりました。

当期純利益につきましては、上記の理由により 114 百万円（当初予想比：6 百万円の減少）となりました。

(3) 通期（平成17年5月1日～平成18年4月30日）業績予想について

通期の見通しにつきましては、わが国経済は I T 関連分野の在庫調整は終了したものの、個人消費と設備投資の増勢も一服したことから、景気の回復は緩やかものにとどまっている状況にあります。ただし雇用情勢の構造的改善は継続しており企業の設備投資意欲も依然強いこと、企業収益の増加を受けてボーナスの前年増加も見込まれることから、景気は増勢を取り戻すことが期待されております。

国内の石油製品需要は、原油価格も高止まりの状況が続き、価格動向は予断を許しませんが、当社グループの S S においては、引き続き採算販売を重視し、適正な販売価格を維持することで、業績の安定推移に努めてまいります。

また自動車販売につきましても、堅調に推移する個人消費を受け、販売台数の増加が期待できる一方、高級車販売における一層の競争の激化が予想されます。当社グループにおいては、BMW 車を中心とした新型車の投入効果を活かし、引き続き新車・中古車の販売ならびに整備業務の業績向上に努めてまいります。

以上の下期の経営環境を踏まえ、平成 17 年 6 月 24 日に発表しております平成 18 年 4 月期の業績見通しの変更はありません。

当社グループとしては、下期もお客様に満足して頂けるようサービス内容の充実に努め、地域社会及び環境と共生を図りつつ当社グループの経営資源を活用する事で魅力的な成長性と収益性ある企業をめざします。

また今後の業績予想につきましては、変動が判明次第公表させていただきます。

ご参考：通期業績予想

|                                | 売上高        | 経常利益    | 当期純利益   |
|--------------------------------|------------|---------|---------|
| 前回発表予想<br>(平成 17 年 6 月 24 日発表) | 26,500 百万円 | 580 百万円 | 300 百万円 |

(4) ご参考：前期の実績（平成16年5月1日～平成17年4月30日）

|                  | 売上高        | 経常利益    | 当期純利益   |
|------------------|------------|---------|---------|
| 中間期（5月1日～10月31日） | 12,416 百万円 | 244 百万円 | 119 百万円 |
| 通期（5月1日～4月30日）   | 24,597 百万円 | 557 百万円 | 289 百万円 |

## 2. 平成18年4月期単独業績予想の修正等

### (1) 中間期（平成17年5月1日～平成17年10月31日）

|                             | 売上高      | 経常利益   | 当期純利益  |
|-----------------------------|----------|--------|--------|
| 前回発表予想（A）<br>（平成17年6月24日発表） | 9,000百万円 | 200百万円 | 100百万円 |
| 今回修正（B）                     | 9,073百万円 | 133百万円 | 83百万円  |
| 増減額（B - A）                  | 73百万円    | △67百万円 | △17百万円 |
| 増減率                         | 0.8%     | △33.5% | △17.0% |

### (2) 修正理由

売上高につきましては、カーライフサポート事業は、連結・単独ともに事業内容が同一であり、修正理由、修正額は連結業績と同じ内容であります。

カービジネス事業は、フォード横浜が堅調な伸びを示した結果、単独の売上高は9,073百万円と当初予想比0.8%の増加となりました。

経常利益につきましては連結業績と同様に、カーライフサポート事業における石油製品販売で、利益率が計画を下回ったことから133百万円（当初予想比：67百万円の減少）となりました。

当期純利益につきましては、上記の理由により83百万円（当初予想比：17百万円の減少）となりました。

### (3) 通期（平成17年5月1日～平成18年4月30日）の業績予想について

通期の見通しにつきましては、連結同様に、石油製品販売においては、引き続き採算販売を重視し、適正な販売価格を維持することで、業績の安定推移に努めていくとともに、自動車販売につきましても、BMW車を中心とした新型車の投入効果を活かし、引き続き新車・中古車の販売ならびに整備業務の業績向上に努めてまいります。以上の下期の経営環境を踏まえ、平成17年6月24日に発表しております平成18年4月期の業績見通しについて変更はありません。

また今後の業績予想につきましては、変動が判明次第公表させていただきます。

#### ご参考：通期業績予想

|                          | 売上高       | 経常利益   | 当期純利益  |
|--------------------------|-----------|--------|--------|
| 前回発表予想<br>（平成17年6月24日発表） | 18,500百万円 | 460百万円 | 240百万円 |

### (4) ご参考：前期の実績（平成16年5月1日～平成17年4月30日）

|                  | 売上高       | 経常利益   | 当期純利益  |
|------------------|-----------|--------|--------|
| 中間期（5月1日～10月31日） | 8,928百万円  | 254百万円 | 133百万円 |
| 通期（5月1日～4月30日）   | 17,858百万円 | 568百万円 | 305百万円 |

## 3. 配当について

期末配当金につきましては、当初予定どおり1株あたり15円を実施予定です。

以上